

RSウイルス感染症に注意しましょう!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	↓ 1	2
RSウイルス感染症	↓ 49	50	ヘルパンギーナ	↓ 49	70
咽頭結膜熱	↑ 17	7	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 34	37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 56	57	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 345	333	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 74	67
水痘	↑ 10	3	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 121	187	無菌性髄膜炎	↓ 2	3
伝染性紅斑(りんご病)	↓ 31	39	マイコプラズマ肺炎	↑ 13	5
突発性発しん	↑ 49	47	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 流行性角結膜炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池
 手足口病 : 山鹿、菊池、熊本市、人吉
 ヘルパンギーナ : 天草
 流行性角結膜炎 : 熊本市

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所		28	6	26	56	5	40	8	16		15	5		67		2	12		
山鹿保健所					13		15		2		5	2	*	*					
菊池保健所			4	9	115		26	9	10		7	3		3					
阿蘇保健所				1	4								*	*					
御船保健所					23	2							*	*					
八代保健所	6			1	24	1	1	5	4									1	
水俣保健所			1						3		1		*	*					
人吉保健所					17		7	2	3		1	5	*	*					
有明保健所	8			3	63	1	25		6		1	16		3					
宇城保健所	7	6	6	6	16		1	3	4		7	2	*	*					
天草保健所				10	14	1	6	4	1	1	12	1		1					
計	0	49	17	56	345	10	121	31	49	1	49	34	0	74	0	2	13	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	49	8	9	25	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	17	0	3	5	6	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	0	0	1	3	6	9	8	7	1	6	1	12	1	1						
感染性胃腸炎	345	9	35	53	37	34	34	30	21	15	6	19	26	6	20						
水痘	10	0	2	4	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0						
手足口病	121	1	13	58	28	8	6	4	1	0	1	0	0	0	1						
伝染性紅斑	31	0	2	1	4	3	5	6	2	4	1	2	1	0	0						
突発性発しん	49	2	24	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	49	0	11	13	8	5	2	3	2	2	0	1	2	0	0						
流行性耳下腺炎	34	0	1	1	5	8	7	2	5	0	0	2	0	1	2						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	74	0	3	9	6	4	5	1	3	0	2	1	1	2	4	20	4	2	5	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	13	0	5	2	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

RSウイルス感染症に注意しましょう

RSウイルス感染症は、8/24~8/30の週から増加傾向にあります。RSウイルス感染症は、乳児が感染する感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ全ての小児が感染するといわれています。特に、生後6か月以内の乳児がRSウイルスに初めてかかった場合、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を起こすことがありますので、注意しましょう。

【症状】
 鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快するといわれています。多くは軽症で済みますが、重くなる場合には、咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難などの症状が見られ、場合によっては、細気管支炎、肺炎を起こすとされています。特に、生後6ヶ月以内の乳児が初めて感染した場合、重症化する場合があります。

【予防策】
 ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない。
 ・症状のある家族はマスクをする。
 ・外出後の手洗いをきちんと行う。
 ・子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤で消毒する。

